

2025 年度 後期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム「中級Ⅱ」シラバス

Subject		Day・Period	Teacher	Page
中級Ⅱ	会話	火 3	古本	… 1
中級Ⅱ	作文	火 2	郭	… 2
中級Ⅱ	読解	木 3・4	日暮	… 3
中級Ⅱ	聴解	木 1	小谷	… 4
中級Ⅱ	漢字	金 2	川崎	… 5

2025 年度 後期	曜日・校時	火曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について, 楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況や物語の内容などについて詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り, それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
前半は, ロールプレイなどをとおしてその場面に必要な表現を練習します。後半は, カジュアルな日本語で友だちと会話ができるようになるための練習をします。また, 「分かっているけど間違える」ということを少なくし, スムーズに会話のやりとりをする力をつけるためにシャドーイングの練習もします。				
第 1 週	9/30	オリエンテーション		
第 2 週	10/7	きっかけについて分かりやすく説明する		
第 3 週	10/14	人の外見や物について詳しく描写する (1)		
第 4 週	10/21	人の外見や物について詳しく描写する (2) , シャドーイングテスト (1)		
第 5 週	10/28	ハプニングについて詳しく説明する (1)		
第 6 週	11/11	ハプニングについて詳しく説明する (2)		
第 7 週	11/18	ドラマ, 映画, 小説等の内容について詳しく説明する (1)		
第 8 週	11/25	ドラマ, 映画, 小説等の内容について詳しく説明する (2) , シャドーイングテスト (2)		
第 9 週	12/2	社会的な話題を論理的に説明する (1)		
第 10 週	12/9	社会的な話題を論理的に説明する (2)		
第 11 週	12/16	雑談:カジュアルに話す (1)		
第 12 週	12/23	雑談:カジュアルに話す (2), シャドーイングテスト (3)		
第 13 週	1/6	〃 :カジュアルに話す (3), 話し相手に共感を示しながら話す		
第 14 週	1/13	〃 :不安や不満に思っていることを共有しながら話す		
第 15 週	1/27	〃 :話す話題が見つからないときに対処する		
第 16 週	TBA	口頭試験, シャドーイングテスト (4)		
教科書・教材等	配付資料			
成績評価の方法・基準等	(1) Voicethread を使った独話練習 (宿題) : 15% (2) シャドーイング (宿題・練習・テスト) : 25% (3) 授業での積極的な学習態度 : 45% (4) 口頭試験 : 15% 注意: 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL) 095-819-2243 (E-MAIL) ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.) により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の 90%となる。			

2025 年度 後期	曜日・校時	火曜日・2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	郭 昱昕 (GUO YUXIN)		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	アカデミック・ライティングにふさわしい文法や語彙表現を使えるようになり、構成を工夫しながら、独自性のある文章を書くことができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
この授業では、各課の「学習目標」の達成を目指しながら、アカデミック・ライティングに必要なスキルを身につけるために、タスクをしていきます。Step1でアカデミック・ライティングにふさわしいスタイルを、Step2で文章に関わる文法や語彙表現を、事例に基づいてわかりやすくまとまりのある文章を目指して練習を重ねていきます。				
第 1 週	9 月 30 日	オリエンテーション, 第 1 課 アカデミック・ライティングへの準備		
第 2 週	10 月 7 日	第 2 課 日本・日本人<小論文> Step1 文化・習慣の違い		
第 3 週	10 月 14 日	第 2 課 日本・日本人<小論文> Step2 日本らしさの発見		
第 4 週	10 月 21 日	第 2 課 日本・日本人<小論文> Step3 日本論・日本人論		
第 5 週	10 月 28 日	第 3 課 テクノロジー<小論文> Step1 アナログ vs デジタル		
第 6 週	11 月 11 日	第 3 課 テクノロジー<小論文> Step2 インタネットの功罪		
第 7 週	11 月 18 日	第 3 課 テクノロジー<小論文> Step3 AI の光と影		
第 8 週	11 月 25 日	第 4 課 教育<小論文> Step1 自国の教育の特徴と課題		
第 9 週	12 月 2 日	第 4 課 教育<小論文> Step2 宿題の必要性		
第 10 週	12 月 9 日	第 4 課 教育<小論文> Step3 教育格差の是非		
第 11 週	12 月 16 日	第 5 課 ニュース<レポート基礎> Step1 「最も印象に残ったニュース」		
第 12 週	12 月 23 日	第 5 課 ニュース<レポート基礎> Step2 「レジ袋の有料化」		
第 13 週	1 月 6 日	第 6 課 働き方<レポート基礎> Step1 「将来の職業選択」		
第 14 週	1 月 13 日	第 6 課 働き方<レポート基礎> Step2 「女性と労働」		
第 15 週	1 月 27 日	第 7 課 持続可能な世界:SDGsを考える <レポート作成>		
教科書・教材等	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』（伊集院郁子・高野愛子，アスク出版）			
成績評価の方法・基準等	(1) 出席・授業態度:30%:30% (2) 宿題・ミニレポート:30% (3) 確認課題（中間レポート・期末レポート）:20%×2 回=40% (ChatGPT 等生成系 AI を使用した場合、評価は与えられません) 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 （準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行, 家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2025 年度 後期	曜日・校時	木曜日3・4校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	日暮 康晴		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	① 日本語の文章（日本語能力試験 N2 程度）を読んで、論点や論理展開が把握できる ② 日本語の文章（日本語能力試験 N2 程度）を読んで、筆者の主張や意図が理解できる			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
		1 限目	2 限目	
第 1 週	10/2	オリエンテーション	オリエンテーション	
第 2 週	10/9	第 1 課	第 1 課	
第 3 週	10/16	第 2 課	第 2 課	
第 4 週	10/23	第 3 課	第 3 課	
第 5 週	10/30	第 4 課	第 4 課	
第 6 週	11/6	実力チェック①	実力チェック①（解説）	
第 7 週	11/13	第 5 課	第 5 課	
第 8 週	11/20	第 6 課	第 6 課	
第 9 週	11/27	第 7 課	第 7 課	
第 10 週	12/4	第 8 課	第 8 課	
第 11 週	12/11	実力チェック②	実力チェック②（解説）	
第 12 週	12/18	第 9 課	第 9 課	
第 13 週	1/8	第 10 課	第 10 課	
第 14 週	1/15	第 11 課	第 11 課	
第 15 週	1/22	実力チェック③	実力チェック③（解説）	
第 16 週	1/29	テスト	テスト	
教科書・教材等	奥田純子編著『読む力 中級』くろしお出版 ISBN:978-4-87424-518-7			
成績評価の方法・基準等	テスト:40%、実力チェック:20%、授業への参加度:20%、宿題:20% 〈注意〉授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の 3 分の 2 に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL)095-819-2243 (E-MAIL)ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問、etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き、試験、etc.、専門関係:乗船実習、研究発表、etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2025 年度 後期	曜日・校時	木曜日・1校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷 裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本の生活や文化を知ることができる話題の会話を当事者に「なりきって」聞くことで、能動的な聞く力を身につける。「聞く力」と同時に「聞き返す力」を伸ばすことで、コミュニケーション能力を高める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
「傍聴型」ではなく、「参加型」の聴解クラスなので、積極的に発言することが求められる。毎回リスニングの課題を課し、翌週課題テストを実施する。				
第1週	10/2	オリエンテーション / ユニット1 はじまりは桜から		
第2週	10/9	ユニット2 食べる楽しみ		
第3週	10/16	(応用1) 食生活		
第4週	10/23	ユニット3 バイト体験		
第5週	10/30	ユニット4 結婚のお祝い		
第6週	11/6	(応用2) 結婚		
第7週	11/13	ユニット5 買う楽しみ		
第8週	11/20	ユニット6 旅する楽しみ		
第9週	11/27	(応用3) 旅行		
第10週	12/4	ユニット7 会社の話を聞く		
第11週	12/11	ユニット8 恋の話		
第12週	12/18	(応用4) 就職活動		
第13週	1/8	ユニット9 笑う楽しみ		
第14週	1/15	ユニット10 落語家にインタビュー		
第15週	1/22	(応用5) 総まとめ		
第16週	2/5	期末試験		
教科書・教材等	「中級から上級への 日本語なりきりリスニング」 ジャパンタイムズ出版			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 10%、態度 10%、課題テスト 40%、期末試験 40% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL)095-819-2243 (E-MAIL)ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2025 年度 後期	曜日・校時	金曜日・2校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	川崎加奈子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を教科書に沿って復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に沿った適切な漢字語彙が使えるようになる。また、予習活動としてのプレゼンテーションを通して、自ら進んで漢字学習に取り組むことができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
各課16～18字の新しい漢字を学びます。教科書各課の最初にある「覚える」の漢字を分担して予習し、各自で例文を作成してプレゼンをしてもらいます。プレゼンと質疑応答を通じて漢字の読みや意味・用法を確認した後、確認練習問題などで議論し、間違いやすいことばの使い分けを考えます。翌週に確認小テストを実施します。尚、進度は状況に応じて変わるため、進度はこの予定通りとならない場合があります。				
第1週	10月3日	オリエンテーション、1課 プレゼンの例・「確認問題」・「考えて使う」		
第2週	10月10日	1課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第3週	10月17日	前週の確認テスト、1課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
第4週	10月24日	前週の確認テスト、2課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第5週	10月31日	前週の確認テスト、2課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
第6週	11月7日	前週の確認テスト、3課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第7週	11月14日	前週の確認テスト、3課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
	11月21日	(休講)		
第8週	11月28日	4課「覚える」の漢字プレゼンテーション、中間テスト		
第9週	12月5日	前週の確認テスト、4課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
第10週	12月12日	前週の確認テスト、5課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第11週	12月19日	前週の確認テスト、5課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
第12週	1月9日	前週の確認テスト、6課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第13週	1月23日	前週の確認テスト、6課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」		
第14週	1月30日	前週の確認テスト、7課「覚える」の漢字プレゼンテーション		
第15週	2月6日	7課「確認問題」「発展問題」「考えて使う」、復習テスト		
教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 上級編』八木真生他著、ココ出版			
成績評価の方法・基準等	確認テスト10%、テスト①30%、テスト②30%、宿題完成度（プレゼン・問題予習）20%、受講姿勢10%、注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL)095-819-2243 (E-MAIL) ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			